熱き戦いを越えて
令和8年度　第1次連隊訓練検閲

伊勢友情
発行所・編集
三重県中勢防衛協会
TEL(059)228-9141
印刷　㈲ミフジ印刷

三重県中勢防衛協会では会員を募集しています。
〈申込及びお問い合せ先〉
〒514-0033
津市丸之内29-14
(津商工会議所内)
TEL〈059〉228-9141

33普連（連隊長・南平1佐）は、7月、第1次連隊訓練検閲を実施した。本訓練は、第1中隊～第4中隊の各中隊に対して訓練検閲を実施し、指揮幕僚活動及び部隊、隊員の行動に関する練度を評価・判定してその練度向上を図り、HTCに参加に向けて万全を期すことを目的として実施された。

本検閲については、4個中隊が検閲を実施し、統裁官要望事項「できるまでやる」を具現実行するべく各中隊は練成訓練を重ね、一隊員まで任務・役割を理解させ、認識を共有して検閲に臨んだ。状況間、梅雨明けの最高気温35℃を超える猛暑と熱帯夜が続く中、隊員たちはそれぞれの任務・役割を果たすべく中隊長・各級指揮官・隊員一丸となり与えられた任務を完遂した。各中隊は現代戦の実態をふまえた状況に対応しつつ、強い責任感をもってこれまでの練成成果を発揮した。

また、検閲間の統裁部においては受閲中隊と補助官部が入れ替わりで実施し、他中隊の戦い方等を間近で確認することにより、互いの見識を深めた。

安全管理面において、衛生小隊が糧食班から氷を受領し各中隊に配布して暑熱対処に当たったほか、患者発生時には速やかに現場へ急行し、迅速かつ適切な処置により重症化を防止した。

講評時、統裁官からは「本検閲で指摘された事項を隊員一人一人が自分のことと受け止め、自分が部隊精強化の一翼を担っていることを自覚してもらいたい。引き続き中隊長を核心として、さらに団結強固で精強な部隊となることを期待する（要旨）」と述べた。厳しい環境下でも最後まで士気を高く維持し、仲間を信頼し支え合う姿は、中隊の団結力と日頃の練成の成果を感じさせるものであった。今後も連隊は、いかなる環境にも対応できる精強な部隊を目指し、熱い思いをもってたゆまぬ努力を積み重ねていく。

いざ！出陣！（3中隊）

「敵発見！撃て！」（1中隊）

ドローンの飛来を速やかに報告（2中隊）

速やかに救護を行う衛生小隊

颯爽と走るLAV（4中隊）

87式対戦車誘導弾を構える隊員（4中隊）

機関銃により仲間を支援（3中隊）

富士の雨空に轟く砲声
令和8年度第2次連隊射撃野営

33普連は、6月下旬に東富士演習場において、令和8年度第2次連隊射撃野営を実施した。

本訓練は、適切な訓練管理のもと、計画的な射撃練度の向上を図るとともに、集成部隊の編成及び射撃要領に基づく演練を実施し、訓練の質的充実及び自ら考え積極的に行動する隊員育成を目的として81㎜迫撃砲射撃が実施された。

81㎜迫撃砲の射撃は、分隊・射撃指揮所・観測者の三者による緊密な連携が求められるため、各中隊は迅速かつ正確な射撃を実施するため、射撃に向けた連携動作の徹底及び反復演練を重ね練度の向上に努めた。また、安全管理についても万全を期するため、隊員一人ひとりによる点検のみならず、バディーによるダブルチェックの徹底により事故防止に努めた。その中で第3中隊は、6月に配属された33連隊普通科中隊初の女性隊員（片山3曹）も分隊長として練成を重ね、射撃に臨んだ。また、第2中隊と第4中隊は、合同で4コ分隊を編成し、集成部隊により緊密な連携動作を徹底し射撃に臨んだ。

射撃本番は、全日程を通して台風の影響により断続的な降雨や霧が発生し、射撃を行うのが困難な状況の中、各隊員は雨に打たれながら待機し射撃機会を伺っていた。その中、雨による地盤の緩みからくる底板のゆがみ等が発生しないよう徹底して機材の布置を行い、待機中には武器や弾薬の防水処置等を行い安全かつ速やかな射撃が実施できるよう徹底をした。雨がやみ、射撃が可能になった際、分隊は、分隊長の適時適切な指揮の下、一糸乱れぬ連携動作を行い速やかなかつ正確な射撃を実施した。

本訓練を通じて、隊員は射撃技術だけでなく、困難な状況下においても冷静かつ確実に任務を遂行する精神力を養うことができた。

連隊は、今後も実戦的な訓練を積み重ね、如何なる任務にも迅速かつ確実に対応できる精強な部隊育成に努めていく。

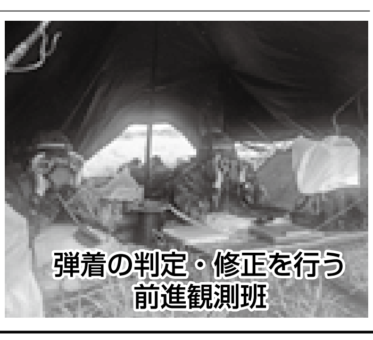
迅速・正確な照準

射撃陣地の工事

細部まで点検する女性分隊長（片山3曹）

「撃てぇー！」

力の源！訓練部隊の食事を調理する炊事班


弾着の判定・修正を行う前進観測班

部隊での経験を積み上げる
令和8年度防衛大学校夏季定期訓練第3学年部隊実習

33普連は、令和8年7月6日（月）から7月21日（月）までの間、防衛大学校が実施する令和8年度防衛大学校夏季定期訓練第3学年部隊実習を第3中隊（中隊長・加藤3佐）が担任し、支援した。

本実習は、防衛大学校第3学年の13名（以下、防大生）に対し、部隊の実情や普通科連隊の特性を訓練及び営内生活を通して体験させることにより、幹部自衛官の地位や役割を理解させ、資質を向上させることを目的に実施された。

実習間、連隊長への着隊申告、レンジャー塔でのロープ橋・懸垂降下訓練、三重地本研修、見習い警衛、状況下での普通科部隊の行動（中隊検閲に分隊員として参加）などを行った。

レンジャー塔でのロープ橋・懸垂降下訓練においては、第3中隊のレンジャー隊員からロープの結索要領、ロープ橋の渡過要領及び降下要領の教育を受けた後、実際にロープ橋を「モンキー」と呼ばれる渡過方法で渡った。その際、上手く渡れず落下しそうになる防大生も見受けられたが、歯を食いしばりながら最後まで渡っていた。懸垂降下訓練では、降下前はレンジャー塔の高さに圧倒されていたが、防大生達は大きな声を出し、高さの恐怖を払拭しながら降下した。

状況下での普通科部隊の行動では過酷な暑さの中、流れる汗を拭いながら工事作業を行い、三夜四日の連続状況下における一連の行動を体感するとともに、中隊の一員として任務完遂に貢献した。

今回の部隊実習を通じて防大生は、気力及び体力を養うとともに、普通科部隊の各種戦闘行動に関するノウハウを得て、自信に満ち溢れた表情で久居駐屯地での部隊実習を終えた。

歯をくいしばって渡り切る！（モンキー）

体育館で行われた紹介行事

大きな声を出し、恐怖を払拭

中隊検閲　隊容検査

修了申告

警戒をする防大生

一人前の普通科隊員を目指して
令和8年一般陸曹候補生課程（後期）及び新隊員特技課程開始式

33普連は、7月3日（金）に久居駐屯地厚生センター大会議室において、令和8年一般陸曹候補生課程（後期）及び新隊員特技課程合わせて33名の教育開始式を挙行した。

式当日は、梅雨時期にもかかわらず晴天となり、全国各地の駐屯地から久居の地に集まった新隊員達は、凛々しく、そして堂々と整列した。

厳正な雰囲気の中、戀塚2士が代表して教育入隊申告を、林2士が代表して服務の宣誓を行った。

執行者（連隊長）は、式辞において「今君たちの隣にいる同期を大切にし、切磋琢磨しながらこの後期教育を乗り越えてほしい。」（要旨）と述べた。

新たな仲間とともに33名の若人達は、これから約2ヶ月半の間、普通科隊員としての知識・技能を学び、一人前の普通科隊員を目指して成長していく。

宣誓を実施する林2士

執行者に敬礼

緊張の表情を浮かべる新隊員

申告を実施する戀塚2士

新指揮官紹介

第130地区警務隊久居派遣隊長
2尉　安達　俊勝
前部隊　第130地区警務隊明野連絡班（明野）
要望事項　「一所懸命」
趣味　キャンプ
出身地　愛媛県

第33普通科連隊第2中隊長
1尉　横田　顕
前部隊　富士学校普通科部（富士）
要望事項　「人にやさしく」
趣味　旅行とお酒
出身地　福岡県

※令和8年度より、戦闘服への階級章位置が胸部へ変更されました。（試行段階）

中島栄養士の栄養講座

熱中症・夏バテを予防しましょう

中島栄養士の栄養講座

夏バテを予防しましょう

夏バテとは「体がだるい」「食欲がない」「疲れやすい」など、暑さや冷房による自律神経の乱れから起こる体調不良の総称です。暑さで疲れやすく、汗でミネラルを失いやすいため**栄養バランスの良い食事**、十分な水分補給を心掛けましょう。

夏バテ予防・食事のポイント

★麺類にはトッピングをプラス
たんぱく質を補給できる肉や卵、野菜などを追加して栄養価UP

★食欲増進食材を活用！
香辛料やにんにく、しょうが、酢などを活用し食欲アップにつなげましょう。

★冷たいものは摂りすぎに注意
胃腸への負担となるため、摂りすぎには注意しましょう。

久居駐屯地食堂で好評！
夏バテ予防おすすめメニュー

～33鷹の油麺～
駐屯地オリジナルの油そば。蒸し鶏、半熟卵をトッピングしてたんぱく質を補給。ラー油や酢の風味で食欲が落ちやすい夏でも食べやすい一品です。

～四日市とんてき風焼肉～
おろしにんにくを混ぜたウスターソースを絡めて焼きます。にんにくも一緒に焼くスタミナメニューです。

参考文献等：日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」、「理論と実践スポーツ栄養学」

糧食班からのお知らせ

令和8年度のダイニング甲子園は「カレーライス」がテーマです。久居駐屯地オリジナルの**久居勝利の勝つカレー**というメニューを喫食者の皆さんの意見を取り入れながらブラッシュアップしてエントリーする予定です。

中部方面隊HPに令和7年度ダイニング甲子園（豚肉料理）の全駐屯地のレシピが掲載されています。
夏バテ予防メニューとしても上記で紹介した「四日市とんてき風焼肉」のレシピが紹介されています。

中方全駐屯地のレシピはこちら → Check!

ダイニング甲子園：中部方面隊の給食向上施策

VOICE・VOICE

中隊検閲を終えて

第1中隊　士長　栗原　昂希

今回の検閲は、中隊として非常に良い評価を受けました。これは、第1中隊全員が一丸となって鋭意に取り組んだ結果だと断言できる検閲でした。

私は、第1中隊第1小隊第2分隊小銃手として検閲に参加しました。今回のように暑い中での連続状況は、私自身、初めての経験でした。作業に全力を尽くしたいところでしたが戦う余力を残すことも念頭に置かなければなりません。今回は疲労回復の処置を意識していたので疲労を感じることはなかったのですが、これまで経験したことのない強い睡魔に襲われました。そして、眠気は作業効率を著しく低下させる要因の一つだと改めて感じました。眠気問題を解決すれば、かなりの効率化を図ることができると思います。逆に言えば全力を尽くす中でも休憩をしなければ作業効率が低下したままなので任務を遂行するどころか、不安全な場面を作る要因になります。ある程度の睡眠時間を取ることはマストとしてやはり他の細かな部分で効率化を図って睡眠時間を確保することが必要だと思いました。

常に全力で作業することが理想なのですが睡眠を取らなければ、行動が止まってしまう場合が出たり、必要以上の作業時間が発生したり、分隊の細かい意思決定の都度、時間がかかったりしてしまいました。これらは睡眠時間を確保した上で、各人の作業内容の理解度を上げるとともに、確実な情報の共有及び不安全事項を未然に分隊で防止する着意が必要と感じました。また、私自身の戦術に対する理解度をもっと向上させなければならないと感じたので今後、陸曹教育隊に入校し、少しでも戦術を理解して、中隊に貢献できるように精進していきたいです。

❁ ❁ ❁

検閲を通じて感じたこと

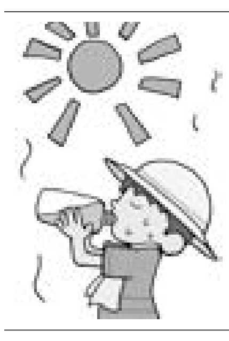
第2中隊　3曹　西倉　浩樹

今回の中隊検閲では、小銃分隊長として参加しました。検閲期間中は厳しい暑さとの戦いでもあり、隊員同士で「今日も暑いな」が合言葉になるほどでした。それでも誰一人として任務に手を抜くことなく、それぞれが自分の役割を果たし、最後まで任務をやり遂げることができました。

分隊長として、隊員の体調や安全に気を配りながら指揮を執ることの難しさと責任の重さを改めて実感しました。炎天下の中での作業は「もう勘弁してほしい」と思う瞬間もありましたが、不思議と作業を始めると気持ちが切り替わり、分隊及び小隊全体が一つになって行動できたことは大きな自信になりました。

今回の訓練を通じて、改めて感じたのは、やはり基本・基礎が一番大事ということです。派手なことよりも、一つ一つの基本動作や隊員相互での声掛け、各結節での安全確認の積み重ねなどが分隊の力に繋がることを実感しました。

今回の訓練で得た経験を今後の訓練や任務に活かし、暑さにも負けない、隊員から信頼される分隊長を目指して努力していきたいと思います。



中隊検閲を終えて

第3中隊　3曹　今井　翔斗

中隊検閲では、対戦車小隊分隊長として参加しました。陸曹になって初めての検閲であり、また対戦車分隊長として作戦準備から撤収・整備に至るまでの一連の行動を通じて、多くのことを学び、貴重な経験をしました。

訓練までの準備間は、小隊の現状を把握した上で、どのような訓練を実施する必要があるのかを考え、任務に必要となる物品や資材の見積もり、各種調整にも取り組みました。一連の状況間では、連日の猛暑により小隊長や分隊員が不在となる状況があり、疲労困憊の中でしたが、長期にわたり生き延び、対機甲火力を最大限発揮できる態勢を整えることに終始心掛けました。その中で小隊をどのように運用していくかを考える機会が多くあり、普段の業務では考えることのなかった事項について自ら考え判断し、行動することで分隊長目線では気付かなかった小隊を運用する上で必要となる視野や、より強い責任感を身に付けることができました。また、自分一人では対処できない場面でも、意見具申及び調整により中隊本部や他小隊との連携及び協力を得ることで問題を解決し小隊の任務を遂行することができました。

この訓練での経験を通じて、周囲との連携や協力の重要性についても改めて実感することができました。

今回の検閲で得た知識や経験を今後の小隊・中隊の訓練等に反映させるとともに、現状に満足することなく、自ら考え行動できる隊員を目指し、日々の勤務に取り組んでいきます。

中隊検閲に参加して

第4中隊　1曹　小野　明彦

私は令和8年7月にあいば野演習場で実施された中隊検閲に中隊本部要員として参加しました。今回は「できるまでやる」が要望事項ということもあり、中隊として数ヶ月にわたり意見交換や資材の準備をしていました。特に訓練資材についてはかなりよくできていました。中隊訓練で実際設置した時は少し離れると本物に見えるくらいでした。

様々な準備をして訓練に臨んだのですが、最大35度まであったとされる気温の高さがまず大きな問題でした。ただ立っているだけでも体力を奪われるような環境で重量物の運搬や各種作業を実施しなければなりません。中隊としては食事運搬や給水を実施し隊員の疲労軽減に努めたため、大きな健康被害は発生しなかったことは良かったと思います。

小隊でも適宜休息をとることで最後まで訓練をやり抜くことができた要因であると思います。

しかし資材交付のタイミングには課題があったと思います。資材配布はできるだけ早期に実施できたほうが良いのは間違いありません。しかし、受け取る側の準備が完全でない状態で配布すると体力の消耗や最終的な効率の悪さにつながります。小隊との連携をさらに増してより良い資材配布のタイミングを見極める必要があると思いました。

それと最も大事なことですが基本基礎とはなにかを、もう一度学ぶ必要があるのではと感じました。これまでやってきたこと自体が大きく間違っていた訳ではありません。しかし、細部で不十分とされる事象があったのも事実です。現在世界情勢は不安定でいつなにが起きるのか不透明な時代です。現実に戦闘に参加することも十分に考えられます。その中で正しい基本基礎を学ぶことは訓練での成果というより現実の命を守る事に直結します。だから更なる向上が必要であると感じました。

令和8年度前期定期異動者紹介

【駐屯地外（異動先）】
▽本中
2尉　山口史晴（信太山）
2曹　水谷智紀（守山）
3曹　佐藤岬海（守山）
▽1中
1尉　池田桂介（富士）
2曹　今井章人（善通寺）
3曹　六鹿喜信（豊川）
3曹　辻本隼汰（奈良地本）
▽2中
3佐　大村　武（守山）
2曹　米山浩史（守山）
2曹　渡邊義明（那覇）
2曹　林　亮太（板妻）
3曹　八重尾光希（那覇）
3曹　伊藤正希（善通寺）
▽3中
曹長　平井一則（竹松）
3曹　堂下拓海（信太山）
▽4中
2曹　川尻健介（明野）
3曹　五十嵐義樹（福井地本）
▽重中
3曹　澤田　輝（滝川）
3曹　原　伊吹（那覇）
3曹　宇野一樹（習志野）
3曹　中邑日花里（守山）
▽業務隊
3佐　駒田弓月（大津）
▽2直支
1曹　小河英貴（与那国）
1曹　鳴川秀夫（明野）
▽警務隊
1尉　牧平裕貴（伊丹）
2曹　中村亮太（伊丹）
【駐屯地内】
▽連本
3尉　有馬　太（1中）
▽2中
1曹　黒木基喜（業務隊）
3曹　古城晋梧（2直支）
▽3中
1曹　横矢幸大（本中）
【転入者】
▽連本
1尉　加藤貴博（伊丹）
▽本中
2曹　狩野　薫（多賀城）
2曹　古髙龍有生（今津）
▽2中
1尉　横田　顕（富士）
▽4中
1曹　田端茂幸（竹松）
3曹　矢田雅希（名寄）
▽重中
3曹　青木駿祐（帯広）
▽業務隊
准尉　齊藤孝紀（明野）
▽2直支
1曹　清水卓真（明野）
▽警務隊
2尉　安達俊勝（明野）
1曹　足立功一（伊丹）
▽会計隊
2曹　渡邉裕介（大久保）

盛大な拍手を受ける転出者

「また会おう！」

優秀隊員紹介

▼令和7年度金鯱表彰
▽官用車両運行
無事故継続「1年」
第33普通科連隊
▽官用車両運行
無事故継続「3年」
本部管理中隊
第1中隊
第2中隊
重迫撃砲中隊
▼令和8年度前期連隊定期表彰
▽第4級賞詞（職務遂行による功績）
本中　1曹　奈良岡範彰
本中　2曹　水谷　智紀
本中　3曹　増田　直也
2中　2曹　渡邊　義明
3中　曹長　平井　一則
重中　1尉　嶋本　健男
重中　3曹　原　伊吹
▽第4級賞詞（業務、装備改善による功績）
連本　3尉　有馬　太
本中　2尉　山口　史晴
本中　2曹　濱　博勝
1中　1尉　池田　桂介
1中　2曹　今井　章人
▽第4級賞詞（車両無事故操縦による功績）
3中　2曹　北村　将基
4中　2曹　髙嶋　励
▽第5級賞詞（業務、装備改善による功績）
本中　1曹　坂本　陽亮
本中　2曹　和田　堅吾
本中　2曹　上村　潤
本中　3曹　橋詰　健太
本中　3曹　草野　将希
▽第5級賞詞（隊員自主募集による功績）
本中　1曹　在間比佐衣
本中　士長　野々山唯華
1中　士長　近藤　颯
3中　3曹　木下　良一
4中　士長　藤井　斗騎
▼業務隊
▽第5級賞詞（職務遂行による功績）
3佐　駒田　弓月
▼第2普通科直接支援中隊
▽連隊第4級賞詞（職務遂行による功績）
1曹　小河　英貴
▽大隊第5級賞詞（職務遂行による功績）
1曹　鳴川　秀夫
▽大隊第5級賞詞（車両無事故による功績）
3曹　井野　良介
▽大隊第5級賞詞（隊員自主募集による功績）
3曹　辻　千尋
▼第43期幹部特技課程
【人事】
警務隊　1尉　牧平　祐貴
▼第216期陸曹上級課程
▽混成団長賞受賞
本中　1曹　羽後　智規
▽教育隊長賞受賞
3中　1曹　横矢　幸大
▼第148期初級陸曹特技課程
▽中部方面総監賞受賞
重中　3曹　井上　樹
▽戦技優秀賞受賞
重中　3曹　井上　樹
▼第148期陸曹候補生課程
▽教育隊長賞受賞
3中　3曹　西村　周悠
▼第26期一般陸曹候補生課程助教
▽混成団長褒章
本中　2曹　川崎沙也香
重中　2曹　芳賀　勇

表彰を受ける隊員

執行者に敬礼

定年退官者紹介

▽吉田　静雄　准尉
（前　第4中隊）
8月10日付
定年後
松田石油SS
長い間の勤務、お疲れ様でした。
これからも健康に気を付けて頑張ってください。